

彦根市子ども・若者プラン 計画目標値・実績値

資料1(差し替え)

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対する担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり											
1 ◎彦根市子ども・若者総合相談窓口 の相談者数(延べ人数) 【4】【5】	少年センター	590人	800人	1,086人	1,359人	758人	827人		100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談延べ692人、カウンセリング135人。 総合相談窓口の周知がされたことにより、前年度より延べ数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 総合相談窓口で運営しているひきこもり傾向の若者の居場所であるサロン利用者は延べ223人、家族サロン利用者数延べ8人であった。
2 彦根市子ども・若者総合相談窓口の 相談者数(実人数) 【4】【5】	少年センター	70人	100人	77人	89人	109人	103人		100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は相談対象の年代別に、小学生5人、中学生13人、高校生11人、大学生5人、10代12人、20代37人、30代12人、40代以上・年齢不明8人。ひきこもり、就労、不登校の相談が多く、特に高校・大学の中退や離職後にひきこもりがちになった20代の相談が多い。 【実績値以外の事項に関する意見】 高校等の中退からひきこもるケースを防ぐため、あすくる彦根と連携して高校への訪問を実施。また、中学卒業後に無所属になる子に繋がるように中学校との連携を深めた。
3 博物館体験学習参加実人数 【21】	彦根城博物館	5人	80人	-	36人	60人	87人		100.0%	○	【実績値に関する意見】 目標値は「キッズサマースクール」と「わくわく体験スクール」という2つのイベントの参加者を足したものである。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたこともあり、「キッズサマースクール」の定員を30人から60人に、「わくわく体験スクール」の定員を30人から40人に拡大したことで、多数の参加があり、目標値を上回る結果となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 「キッズサマースクール」、「わくわく体験スクール」とともに多くの申し込みがあり、イベントへの関心の高さを感じている。
4 子ども文芸作品応募数 【23】	文化振興課	5,093点	7,000点	7,778点	8,378点	6,870点	6,590点		94.1%	△	【実績値に関する意見】 応募件数が減少傾向にあるため、応募件数の増加に努めていく必要がある。 【実績値以外の事項に関する意見】 4部門中、部門ごとの応募件数に偏りがある(俳句3,629点、川柳2,220点、短歌478点、詩263点)ため、応募件数の少ない部門の応募者数を増加させたい。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
5 図書館の未就学児の登録者数 【24】	図書館	840人	1,000人	742人	727人	726人	687人		68.7%	▼	<p>【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染対策による、おはなし会の参加人数等、令和5年5月8日まで一部の利用制限、11/20～12/11の館内改修工事による休館などの影響により、登録者数が減少した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 ボランティア団体と協力し、「ブックスタートのつどい」、おはなし会などを実施し、子どもと保護者が一緒に楽しめる、魅力ある図書館づくりに努めた。登録率は前年度同水準を維持した。(令和6年3月末住民数5,492人、12.5% 令和5年3月末住民数5,794人、12.5%) 今後も、登録者数の増加に繋がるよう、館内展示での本の紹介や情報発信を行い、読書に親しめる環境づくりに努める。</p>
2 子ども・若者の育ちに応じたまちづくり											
6 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所	4か所		100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 令和4年度新たに1か所開設して令和5年度も継続して開催し、目標を達成することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、令和4年度に比べて利用者数が増加した。 また、地域の方による作品展示やボランティアによる読み聞かせ等、地域支援の取組みを実施した。</p>
7 保育所待機児童の解消 【47】【50】【51】	幼児課	29人	0人	56人	9人	1人	1人		0.0%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設による量的拡充とAIによる入所審査により、第1希望への入所率は上がりましたが、運転免許がなく、徒歩圏内の保育所に可能枠がない児童がいたため、待機児童となりました。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 令和6年度からの利用定員拡大に向け、幼稚園から認定こども園への移行に対して補助を行いました。</p>
8 利用児童数(2号、3号)	幼児課	2,739人	3,057人	2,787人	2,816人	2,848人	2,706人		88.5%	▼	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設により量的拡充を行いました。子どもの数の減少に伴い、利用児童数が減少しました。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 令和6年度からの利用定員拡大に向け、幼稚園から認定こども園への移行に対して補助を行いました。</p>
9 保育士数	幼児課	719人	834人	747人	754人	781人	808人		96.9%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設と、保育士の離職防止に向けた取り組みによる退職者の減により、保育士数は増加となりました。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 保育人材確保に向けた取組として、保育士フェアの開催や園長を対象とした人材マネジメント研修を実施したほか、コロナ禍には休止していた高校生の保育士体験を再開した。また、京都府、岐阜県の養成校を訪問し、今後の事業連携を模索しました。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
10 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差(小 学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.1%	0.6%	-	-2.5%	-0.9%	-0.9%		98.1%	▼	<p>【実績値に関する意見】 各校で取組を進めたが、全国平均との差を縮めること至らなかった。しかしながら、国語においては令和4年度の数値と比較すると全国平均に迫ることができている。各校で、全国学力学習状況調査問題を分析し、授業改善に取り組んできた成果が見られている。また、学ぶ力向上推進リーダーが各校で、確かな学力の向上に向けた取組を牽引した成果とも考えられる。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン、通称「学び実感ひこねプラン」を策定し、「目標達成のための3つの視点」と「目標達成のための10の力点」について明確化した。「学び実感ひこねプラン」と各学校の実態に応じて、「学ぶ力向上策」を連動させて作成したことによって、学校全体が同じベクトルで学力向上に向けての取組を進められるようになってきている。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
11 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差(中 学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.8%	0.6%	-	-1.4%	1.8%	-2.9%		94.7%	▼	【実績値に関する意見】 各校で取組を進めたが、全国平均を下回る結果となった。より一層、各 校で、全国学力学習状況調査問題を分析し、授業改善に取り組んでいく必 要がある。また、無回答率を下げいくためにも、主体的に学習に取り組 む授業改善がより一層求められる。 【実績値以外の事項に関する意見】 第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン、通称「学び実感ひこねプラン」を策 定し、「目標達成のための3つの視点」と「目標達成のための10の力点」 について明確化した。「学び実感ひこねプラン」と各学校の実態に応じ て、「学ぶ力向上策」を運動させて作成したことによって、学校全体が同 じベクトルで学力向上に向けての取組を進められるようになってきてい る。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。
12 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査の体力合計点(小5男子) 【56】	学校教育課	55.24点	56.00点	-	52.00点	50.64点	52.68点		94.1%	▼	【実績値に関する意見】 近年、全国的に児童の体力は低下傾向にある。令和5年度は、上体起こ し、長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げおよび体力合計点で全国平 均を上回り、昨年度に比べ改善が見られた。 【実績値以外の事項に関する意見】 スクリーンタイム(=スマホ、PC、TVなどの使用に費やされた時間)が多い傾向が 見られる。この割合は、男子が特に高い。平日に運動する時間が全国平均 よりも短い。
13 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査の体力合計点(小5女子) 【56】	学校教育課	56.30点	57.00点	-	53.64点	51.51点	52.29点		91.7%	▼	【実績値に関する意見】 男子と同様、全国的に児童の体力は低下傾向にある。令和5年度は、 昨年度よりやや改善が見られたものの、8つの全種目において全国平均 を下回った。 【実績値以外の事項に関する意見】 女子についても、スクリーンタイム(=スマホ、PC、TVなどの使用に費やされ た時間)が多い傾向が見られる。体を動かすことが好きと答える割合が 低い。
14 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議 会実務者会議の参加団体・機関等数 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体	39団体		97.5%	△	【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支 援し関係機関等のネットワークの構築を図るために、実務者会議を2回、 個別ケース会議を1回実施した(代表者会議は、他の協議会との整理の ため、令和5年度は実施せず、令和6年度に実施することとした。) 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度に実施したアンケート調査結果に基づき、就労体験の機会の 充実に関することを中心に、参加団体からの意見交換や研修を行った。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	実績値						令和5年度		令和5年度実績値等に対する担当課意見
			目標値						達成率 (%)	達成 状況	
			令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
3 みんなが共に育つために子ども・若者を支援するまちづくり											
15	家庭相談件数(実人数) 【87】【88】【90】	子育て支援課	766件	947件	838件	964件	972件	967件	100.0%	○	【実績値に関する意見】 相談件数は前年度からやや減少したものの、高止まりしている状態である。職員の資質向上を図ることに加え、相談支援の質を担保するためにも、個々の相談内容と支援方針の精査が必要である。 【実績値以外の事項に関する意見】 困難な状況にある子どもへ効果的な支援を行うためには、家族全体の支援が必要となる場合が多数を占めている。連携している他機関も含め、現在の支援施策では対応が困難で、有効な方策が見出せない家庭への支援に苦慮している。
16	ひとり親家庭への就労支援による就職件数 【116】【117】	子育て支援課	14件	20件	13件	4件	10件	8件	40.0%	▼	【実績値に関する意見】 依然とひとり親家庭の雇用状況は、深刻な状況が続いている。 【実績値以外の事項に関する意見】 児童扶養手当の現況届の窓口対応等で就労状況の確認を行い、就労相談を必要とする対象者に、プログラム策定員による就労相談を実施する。引き続き、ハローワークとの連携や資格取得の支援を行うことで就労につなげていく。
17	◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所	27か所	100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳:現在活動中の団体としては、学べる場13か所、子ども食堂14か所の計27か所ある。 【実績値以外の事項に関する意見】 学区により居場所の数にばらつきがある。1か所もない学区もあるため、学区(地域)の状況やニーズに合わせた設置や、継続的な運営のための支援体制を整える必要があると感じた。
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり											
18	夜9時までに寝ている3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	54.6%	59.0%	50.2%	52.9%	49.2%	51.3%	86.9%	▼	【実績値に関する意見】 乳幼児健康診査で、「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを配布した。併せて、必要な方へ生活リズムを聞き取り、生活リズムの見直しについて助言を行った。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も乳幼児健康診査だけではなく、園を通じての健康教室、乳幼児個別相談、離乳食教室など様々な機会を通じて、生活リズムについての啓発をしていく。
19	むし歯のない3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	84.7%	90.0%	89.6%	89.0%	91.9%	92.6%	100.0%	○	【実績値に関する意見】 幼児健診で歯科健診、歯みがき指導やフッ素塗布を実施することができた。また、幼児健診の保健指導時にチラシを用いたり、健診会場に歯科に関するパネルを掲示し、時期に合わせた歯に関する啓発を行うことができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、幼児健診で歯磨き指導や口腔内の清潔について啓発していくとともに、個別相談や健康教室などの機会を通じて、虫歯を予防する食生活や生活リズム等について啓発していく。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
20 小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数【160】	まちづくり推進課	13団体	17団体	13団体	13団体	13団体	13団体	13団体	76.5%	□	【実績値に関する意見】 現在、市内17学区中、13学区で自主防犯活動団体が結成されており、引き続き、残りの小学校区に対して、新規結成に向けた周知および支援を行っていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 現在、自主防犯活動団体は13団体あるが、各団体により活動の実態は様々であることと、また、残り4小学校区について小学校区単位での団体結成は進まないものの、別団体である犬上・彦根防犯自治会の各支部（実績値に関する意見）
21 子ども110番の家の設置数【160】【163】	少年センター	2,069か所	2,236か所	2,083か所	2,066か所	2,057か所	#####	#####	92.4%	▼	【実績値に関する意見】 新規登録 40軒、取消 30軒 【実績値以外の事項に関する意見】 11月を「子ども110番の家」推進月間とし、各学区(地区)青少年育成協議会において設置への協力依頼を行っている。また、「子ども110番の家」に関連した研修会を各学区(地区)で実施するなど、啓発にも取り組んでいる。
22 ◎養育支援訪問件数【211】【219】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件	1,490件	1,490件	96.2%	△	【実績値に関する意見】 前年比約5%の減であるが、目標は概ね達成できている。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問のほか、関係機関とのケース会議の開催などが多く、その対応や記録作成などに追われており、支援方針の検討や見直しを行う時間が相対的に少なくなっている。効果的な支援を行うために訪問は必須であるものの、その目的や質、記録作成の効率化などに取り組む必要がある。
23 乳児家庭全戸訪問率【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%	96.4%	96.4%	96.4%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の感染症分類が第5類に変更されて以降、対面訪問を実施したことにより、訪問率は新型コロナウイルス感染症流行前と同等の訪問率となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年4月から伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業のなかで出生後から4か月までの間に新生児訪問で全員と面談を実施している。引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の整備を図ることができるよう、訪問を実施していく。
5 すべての子どもが希望をもって成長できるまちづくり											
24 家庭支援推進保育士の配置【47】【117】	幼児課	11園	13園	11園	12園	13園	13園	13園	100.0%	○	【実績値に関する意見】 民間園が積極的に配置をしたことで、公立・民間合わせ13園に家庭支援推進保育士を配置できました。 【実績値以外の事項に関する意見】 各園および各園に配置している家庭支援推進保育士と関係機関との連携が円滑に進むよう地域連携推進員を1名配置し、支援にかかるとのネットワークを行いました。
25 就学援助認定基準の拡大【178】	学校教育課	生活保護の基準の1.2倍	拡大	継続	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	-	□	【実績値に関する意見】 就学援助の認定基準として、生活保護基準額に一定の係数(1.1~1.5倍)を掛けたものを設定している自治体が多い。中でも、彦根市のように「生活保護基準の1.2倍を超え、1.3倍以下」の基準を設定している自治体は最も多い。(令和4年度就学援助実施状況調査)。 【実績値以外の事項に関する意見】 申請にかかる負担を軽減する必要があり、今後は、電子申請の導入を検討する。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
26	スクールソーシャルワーカーの配置 【183】【222】	学校支援・人権・ いじめ対策課	1名	2名	2名	2名	3名	3名		100.0%	○	【実績値に関する意見】 昨年度からスクールソーシャルワーカーを1名増員している。市内全ての 小中学校に派遣し、適切な見立てのもと、児童生徒への支援の充実を 図った。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、スクールソーシャルワーカーを窓口に関係機関等との連携に 努め、支援体制のさらなる充実を図っていきたい。
27	【再掲】 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所	27か所		100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場13か所、子ども食堂14か所 の計27か所ある。 【実績値以外の事項に関する意見】 学区により居場所の数にばらつきがある。1か所もない学区もあるため、 学区(地域)の状況やニーズに合わせた設置や、継続的な運営のための 支援体制を整える必要があると感じた。
28	若者の居場所の整備 【102】【199】	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	2か所	5か所	4か所		100.0%	○	【実績値に関する意見】 前年度より1か所減となっていることについては、直営の「子ども若者総 合相談窓口サロン(少年センター)」が相談者を対象に行っているサロン であり、自由な参加が出来ないため減としたもの。 【実績値以外の事項に関する意見】 当事者同士が就労体験などを情報共有することで、「自分もやってみよ う。」と前向きに社会とつながろうとする若者もあり、居場所の存在の大き さを感じた。
29	ひとり親家庭の子どもに対する学びと 食の支援による居場所参加人数 【200】	子育て支援課	12人	16人	6人	8人	5人	10人		62.5%	▼	【実績値に関する意見】 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策から食事の提供を実施しな かったが令和5年度からは食事の提供を再開し、参加対象者を中学生だ けでなく高校生等にまで広げることで参加人数が増加した。 【実績値以外の事項に関する意見】 支援が必要な子どもの参加により、スタッフが1対1で対応していることも 多く、スタッフの安定的な確保についての課題がある。
30	子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所	8か所		100.0%	○	【実績値に関する意見】 滋賀県が委託する里親支援機関を経由して把握した子育て短期支援事 業の受入意思がある里親に対して、市から協力を依頼することで、従前 から委託をしていた1軒を含む4軒の里親と委託契約をすることができ た。 また、新たに市内に設置された自立援助ホーム2か所とも5年度途中に 委託契約を結び、合計8か所の受入施設(里親)を確保することができ た。 【実績値以外の事項に関する意見】 委託契約を締結した里親は増加したものの、緊急時や課題を抱える児 童の受入は難しい状態であり、里親の利用実績は低調である。このた め、比較的課題の少ない児童を計画的に新規の里親に依頼するなどの
31	自立支援教育訓練給付・高等職業訓 練促進給付金受給者数(のべ人数) 【206】	子育て支援課	21人	52人	32人	35人	36人	37人		71.2%	△	【実績値に関する意見】 講座受講後に補助金を支給する自立支援教育訓練補助金について、令 和5年度開始時に対象講座の指定をされていた6名のうち、講座受講後 に補助金を交付した実績は1人であった。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、児童扶養手当の手続き等の際に就労状況の確認を行い、資 格取得が必要な方に対して補助金の案内をしていくが、申請者が受講 修了までの見通しを立てるように対応を行う。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
32	ひとり親家庭向け市営住宅の募集 【214】	住宅課	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和5年度もひとり親世帯向け住宅の募集を実施し、新規入居があった。ひとり親世帯からの一定のニーズがあることは募集期間内外で確認できているため、引き続き公営住宅の需給推移(空室状況)を注視しながら、ひとり親世帯の入居希望に対して支援を継続していく。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後さらにひとり親世帯からの要望が増加した場合、ひとり親家庭向けの部屋には上限があるため、要望のすべてにお答えすることができない点についてどのような改善策があるかを検討していくことも必要である。	
33	【再掲】 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数 【再掲】 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体	39団体	97.5%	△	【実績値に関する意見】 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援し関係機関等のネットワークの構築を図るために、実務者会議を2回、個別ケース会議を1回実施した。(代表者会議は、他の協議会との整理のため、令和5年度は実施せず、令和6年度に実施することとした。) 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度に実施したアンケート調査結果に基づき、就労体験の機会の充実に関することを中心に、参加団体からの意見交換や研修を行った。	
34	◎地域資源を掘り起こし、育成する体制の構築 【230】	子ども・若者課	整備	構築	整備	整備	整備	整備	-	□	【実績値に関する意見】 彦根市社協へ業務を委託している。地域の情報収集および一覧化740件、相談・支援体制の充実90件、ネットワーク形成42件、市民啓発・情報発信33件、仕組みづくり83件。 【実績値以外の事項に関する意見】 居場所に関しては「ボランティアをしたい。」と相談に来られるものの、ボランティアを募集している居場所が離れているため車で行く必要があったり、日程的なこと、運営者側の思いなどによりマッチングが難しい場合があった。今後は「世代や属性を超えて交流できる場や居場所」を充実させることで、人と人、人と居場所がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整え、見守りなどのセーフティネットの充実を図っていく。	
6 教育・保育環境の整備												
35	利用者支援事業実施箇所数 【33】【43】【136】	子ども・若者課 健康推進課	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	100.0%	○	【実績値に関する意見】 昨年度に引き続き彦根市福祉センターと彦根市くすのきセンターの2か所で子育て家庭や妊産婦がニーズに合わせて情報を提供する利用者支援事業を実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 福祉センターでは保育サービス等に関する相談、くすのきセンターでは母子保健等に関する相談を受けているが、適切な施設や事業等をスムーズに利用できるよう支援することで子育てのしやすい環境を整える。	
36	放課後児童クラブ受入児童数 【71】～【74】	生涯学習課	1,393人	1,543人	1,652人	1,541人	1,501人	1,572人	100.0%	○	【実績値に関する意見】 希望する児童をすべて受け入れることができた。コロナ禍で得た経験をもとにICTの活用を保育に取り入れ、アプリで児童の様子を保護者へ配信したり、オンライン社会見学および実験教室を開催する等、特色ある保育に取り組んだ。また、地域で活躍する人材との交流として、読み聞かせやコンサート等を実施することで、地域の方々と世代間交流を図るなど、児童の健全な育成に取り組んだ。 【実績値以外の事項に関する意見】 各小学校に付属する形で事業展開していることから、下校から児童クラブ利用への安全な引継ぎが行えるように、各校の状況に応じてICTを活用した連携を行っている。日々安全に利用できるよう、下校時の児童管理と連携して事業に取り組んだ。	

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対するの担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
37 【再掲】 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所	8か所		100.0%	○	【実績値に関する意見】 滋賀県が委託する里親支援機関を経由して把握した子育て短期支援事業の受入意思がある里親に対して、市から協力を依頼することで、従前から委託をしていた1軒を含む4軒の里親と委託契約をすることができた。 また、新たに市内に設置された自立援助ホーム2か所とも5年度途中に委託契約を結び、合計8か所の受入施設(里親)を確保することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 委託契約を締結した里親は増加したものの、緊急時や課題を抱える児童の受入は難しい状態であり、里親の利用実績は低調である。このた
38 【再掲】 乳児家庭全戸訪問の訪問割合 【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%	96.4%		96.4%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の感染症分類が第5類に変更されて以降、対面訪問を実施したことにより、訪問率は新型コロナウイルス感染症流行前と同等の訪問率となった。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年4月から伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業のなかで出生後から4か月までの間に新生児訪問で全員と面談を実施している。引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環
39 【再掲】 養育支援訪問件数 【219】【228】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件	1,490件		96.2%	△	【実績値に関する意見】 前年比約5%の減であるが、目標は概ね達成できている。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問のほか、関係機関とのケース会議の開催などが多く、その対応や記録作成などに追われており、支援方針の検討や見直しを行う時間が相対的に少なくなっている。効果的な支援を行うために訪問は必須であるものの、その目的や質、記録作成の効率化などに取り組む必要がある。
40 【再掲】 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所	4か所		100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和4年度新たに1か所開設して令和5年度も継続して開催し、目標を達成することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、令和4年度に比べて利用者数が増加した。 また、地域の方による作品展示やボランティアによる読み聞かせ等、地域支援の取り組みを実施した。
41 保育所における一時預かり事業の実施 【53】	幼児課	15園	18園	10園	13園	16園	17園		94.4%	△	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度まで休止していた園が再開したことから、昨年度と比べて実施園数が回復しました。 【実績値以外の事項に関する意見】 利用児童数が園によって大きく違うことから、地域ニーズに応じ実施園を集約するなどの検討が必要です。
42 病児・病後児保育事業の利用人数 【37】	幼児課	564人	660人	202人	454人	535人	951人		100.0%	○	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されて以降、利用者は大きく増加し、令和4年度の535人に対し、令和5年度はさらに回復しています。 【実績値以外の事項に関する意見】 風邪や感染症が流行する季節に利用希望が集中することから、基本的な予防対策を、各園を通じてこまめに通知し予防に努めるほか、申込集中時の受入を引き続き検討します。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和5年度		令和5年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
43 ファミリー・サポート・センター提供会 員の確保 【42】	子ども・若者課	181人	194人	170人	155人	154人	154人		79.4%	▼	【実績値に関する意見】 育児の援助を行う提供会員に新たに4人の方が登録され、4人の方が退会された。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も会員増加を図るために、会員向け活動および事業の周知等を積極的に行う。
44 妊婦健康診査 受診回数 【133】	健康推進課	10,851回	13,300回	9,553回	9,026回	9,006回	8,230回		61.9%	▼	【実績値に関する意見】 母子手帳交付時の面接で妊婦健診について説明をし、妊婦健康診査受診券を発行しているが、月平均60件前後の妊娠届出数で年々減少傾向である。それに伴って妊婦健康診査受診回数も減少している。 【実績値以外の事項に関する意見】 年々妊娠届出数、出生数が減っており、少子化対策等の充実が必要と思われる。
計画目標値の達成率									89.8%		

※分野と指標の下の数字【】は、「彦根市子ども・若者プラン(第2期)」の第4章施策の展開に掲載されている施策の番号になります。

※達成率は、(令和5年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。計算式が異なる場合は「-」としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。